

平成 21 年度第2回新潟市若年者自立支援ネットワーク会議 議事録

と き：平成 22 年 1 月 29 日(金)

ところ：新潟市役所第 1 分館 1-601 会議室

発 言 者	発 言 概 要
司 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ただ今から、「平成 21 年度第 2 回新潟市若年者自立支援ネットワーク会議」を開会します。</li> <li>○ 本日は大変お忙しい中、皆様からお集まりいただき、ありがとうございます。</li> <li>○ 私は本日の司会を務めさせていただきます、商業振興・雇用対策課雇用対策室長の笠原と申します。 どうぞよろしくお願いいたします。</li> <li>○ 限られた時間ですので、早速会議を進めさせていただきます。</li> <li>○ 本日の会議につきまして、会議録作成のため録音させていただいています。ご了承ください。</li> <li>○ また、本日、傍聴の方及び報道として新潟日報社様がおりますことをご報告させていただきます。</li> <li>○ 本日の資料の確認をお願いします。</li> <li>○ 配付資料は、本ネットワーク会議の次第。 続いて、本日の出席者名簿及び座席表です。</li> <li>○ また、資料として、資料 1「現下の雇用状況等について」、 資料 2「新潟地域若者サポートステーション事業実績報告」 資料 3「コミュニティ・カフェ(就労体験事業所 &amp; 居場所)事業」 資料 4 として、封筒に入った資料一式 資料 5「新潟市発達障がい支援センター『JOIN(ジョイン)』」 のパンフレットと補足の資料 資料 6「新潟市若年者自立支援ネットワーク会議設置要綱」 です。よろしいでしょうか。</li> <li>○ 続きまして、本日の委員の皆様の出席状況をご報告させていただきます。</li> <li>○ 欠席された委員の方はいらっしゃいませんが、代理で出席いただいている方をご紹介します。</li> <li>○ 新潟市教育委員会学校支援課長の南委員の代理として、 同課の佐藤指導主事です。</li> <li>○ 新潟労働局職業安定課長の石田委員の代理として、 同課の今泉職業紹介係長です。</li> <li>○ 雇用能力開発機構新潟センター調査役の田村委員の代理として、 同センターの野村委託訓練第一係長です。</li> <li>○ 新潟県労政雇用課長の矢野委員の代理として、 同課の益田労働福祉・雇用均等係長です。</li> </ul>

<p>司 会</p>	<p>以上，ご報告させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なお，本日は，次第「2 報告事項」の中で，各取り組み状況についてご報告いただく方にもご出席いただいています。 ご紹介させていただきます。</li> <li>○ ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟理事の武田様です。</li> <li>○ 新潟市発達障がい支援センター就労支援担当の佐藤様です。 本日は，ご出席いただきありがとうございます。</li> <li>○ ここで，事務局から委員の皆様にご報告させていただきます。</li> <li>○ 昨年秋に民主党政権が誕生し，国の歳出予算に係る事業について事業仕分けが行われましたことは，皆様ご承知のとおりかと思えます。</li> <li>○ 新潟地域若者サポートステーション事業につきましては，この事業仕分けの中で見直しなどの影響を受けることはなく，今後も事業が継続されるものであるということを聞いております。</li> <li>○ そのことを冒頭にご報告させていただきます。</li> <li>○ 以上，事務局からのご報告を終わらせていただき，これからの議事進行は，西條会長様にお願いしたいと思います。 よろしく願います。</li> </ul>
<p>西條会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ それでは，早速議事に入らせていただきます。</li> <li>○ 次第に従い，「2 報告事項」の「(1)現下の雇用状況等について」，事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
<p>事務局（新井田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料1「現下の雇用状況等について」により説明</li> </ul>
<p>西條会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ ただ今の事務局からの説明について，何かご質問，ご意見はありますでしょうか。</li> </ul>
<p>篠田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6ページの雇用保険の受給状況ですが，平成21年6月を境に減ってきています。</li> <li>○ これは失業者が減っているのか，給付期間が満了して雇用保険をもらえていない人が増えてきているということなのでしょうか。</li> <li>○ 雇用保険の給付が終わってしまい全く収入もなく，非常に困っている人が増えているという見方をしたらいいのか，それとも失業者が減っているという見方をしたらいいのかということです。</li> </ul>
<p>事務局（笠原）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新潟労働局様の方からご説明いただけますか。</li> </ul>
<p>石田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 離職者が発生してきた時期が平成20年10月から12月で，そ</li> </ul>

(代理：今泉職業紹介係長)	<p>の後企業整備が増加していたのですが、最近企業整備が幾分落ち着いたということ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ それと、10月から12月頃から給付を受けられた方の支給が終わろうとする時期が大体この時期に重なってきたのではないかと思われ、それ以降は給付がされていない方も増えているということが言えるかと思えます。</li> </ul>
篠田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ そうなると、連動して、生活保護が増えているのですか。</li> </ul>
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一昨年(2019年)の11月頃から、派遣切りなどの統計を取っているのですが、新潟は最前線ではないと考えています。</li> <li>○ 生活保護は、太平洋ベルト地帯の状況から見ると状況は悪くないですが、確実に増えています。</li> <li>○ やはり、雇用保険が切れる時期が多いということはありません。</li> <li>○ 蛇足ですが、昨年の年末からハローワークと共に実施したワンストップサービス等の状況と、組合等で1日派遣村を新潟市内でも実施した状況を見ると、件数は少ないですが、実態としてネットカフェやそうした所にいらっしゃる方がまだ全体的には多い。</li> <li>○ そういった状況があり、その掘り起こしはしたいと思っています。</li> <li>○ ただ、大阪・名古屋等の太平洋ベルト地帯とは少し様子が違う生活保護の受給状態になっています。</li> </ul>
西條会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。他に何かございますか。</li> <li>○ 他にご質問がないようですので、次の議題に入らせていただきます。</li> <li>○ 続いて、「(2) 新潟地域若者サポートステーションの事業実績等について」、事務局からご説明をお願いします。</li> </ul>
事務局(竹葉)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料2「新潟地域若者サポートステーション事業実績報告」により説明</li> </ul>
西條会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ ただ今の事務局からの説明について、何かご質問、ご意見はありますでしょうか。</li> </ul>
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どうもご苦労さまでした。</li> <li>○ ジョブトレを受け入れている企業が、現在3社ということで、この内の1社が私だということと、私は一応その団体の代表ということを抑えていますので、誠に申し訳ありません。</li> </ul>

<p>事務局（竹葉）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ そこで、ジョブトレを受ける企業の立場からのお話をしたいのですが、ジョブトレとは何ぞやとか、どういうものを用意したらいいのかということに対し、我々は割合と無知なのです。</li> <li>○ とりあえず、我々が持っている様々なスキル、様々な環境の中で、センターに来られてジョブトレを望まれている方々が、果たしてどこまでのスキルを持っていらっしゃるのか。</li> <li>○ また、どこまでのスキルを持たせたらいいのかということが、あまり情報として入ってきていない。</li> <li>○ それから、勿論これはスキルの問題ではなく、単純に、要は慣れるということが重要なのだということも勿論あるとは思いますが、職種によっては環境がまるで違います。</li> <li>○ 当社の場合は名簿作り位しかないという状態で、そのことで3年やらせていただいている訳です。</li> <li>○ そちらからの要望なり、ジョブトレを受け入れる企業側に対する研修等を多少考えていただけると、現在20社、30社の名簿があるのですから、その中でもジョブトレの受け入れというのは改善されていくのではないかと思います。</li> <li>○ 前にも言っていたのですが、時々集まって一杯飲みましょうかみたいなことも未だ実現していないので、そういった形で、ジョブトレに関心があり、せっかく手を挙げてくださった皆さんとのネットワークがなかなか作り辛いという現状があるということをご認識いただきたいと思っています。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ ジョブトレのスキルのお話がございましたが、そういう利用者もいるのですが、それはほんの少ないグループで、要するに、サポートステーションや家族以外の人との接触をしたことがない人が大半です。</li> <li>○ 中島映像教材出版様のように、現場のお姉さん、お兄さんがこの子たちのことをよく理解して受け入れてくれると、仕事を覚えるというよりも、そういう人たちとの接触で元気になってくれるのです。</li> <li>○ これは、ここにおられる市嶋委員の伴走舎でも同じなのですが、やはり、受け入れる方が非常にこの子たちのことをよく理解していますので、行くと、やはり居心地がいいからまた希望者が後から手を挙げるということで、そのスキル以前に、コミュニケーションというか異質の人との交わりでだんだん元気が出てくる。</li> <li>○ そこから、次に自分はパソコンをやりたいとか、ペットの方に行きたいとか、農業をやりたいとかというような段階になっていくのかなと思います。</li> </ul>
----------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者にもかなりレベル差もあるのですが、そういう段階ではないかと見ています。</li> <li>○ そこで、利用者の話を聞くと、残念ながら私はこれをやりたいという、これというものが無いのです。</li> <li>○ まず新しい、今までにない人との接触によって、そういうものも段階的に出てくるのかなということです。</li> <li>○ そういことが出てくると、また一步ステージが変わってくるし、間違いなくステップアップした利用者の姿が出てくると理解しています。</li> <li>○ ですから、我々もジョブトレに行く場合に、利用者のスキルというものを全く情報収集していない訳ではなく、なかなかそれがもやもやとしているというのが実態ではないかという感じがしています。</li> <li>○ 今のご提案も含めて、これから当然スキルもどのような形でその子にあったものを付けていくかということ、具体的に詰めていきたいと思います。</li> <li>○ 協力事業所のネットワークについては、社長から毎回言われていますが、私の怠慢もあり、なかなか出来ていません。</li> <li>○ あまり心配しないで、どの位集まるかは別として、やってみることが大事であると思います。これから社長と一緒に詰めながら、今年中に一步を踏み出してみたいという気持ちがあります。 またよろしくお願いします。</li> </ul>
西條会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ 他にありませんでしょうか。</li> </ul>
市嶋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉尻を捉えてしまうようで、竹葉所長には申し訳ないと思いますが、4番の対策のアルバイト先の所で、健常者が増えてきているという言葉が出てきたのですが、私は健常者という言葉がこういう場の中で使うのは不適當な表現ではないかと思います。</li> <li>○ こういう生き辛さを感じている人たちが、健常ではない人だという意識を捨てるといことがとても大切だと私は認識しています。</li> <li>○ そういう意味でお使いになったとは私は思いませんが、やはり、私たちが一番大事なことは、私たちと同じように生き辛さを感じている人たちが、環境整備がされないがために辛い思いをしているのではないかという所に思いを馳せるというベース、原点がないと、どんな表面的な対策を立てたとしても、実質的な意味で彼らを助けていくことは出来ないのではないかと認識しています。</li> <li>○ もう少し言葉遣いや表現を皆さん全員で大事にしていきましようという提案をさせていただきたいと思います。</li> </ul>

西條会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ それでは、次の議事に入らせていただきます。</li> <li>○ これまでの自立支援の取り組みの中から、委員の皆様に共通認識を持っていただく意味で、個別事例について、事務局から報告をお願いします。</li> </ul>
事務局（新美）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個別事例を2例報告</li> </ul>
事務局（竹葉）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今ほど事例を報告させていただきましたが、他のサポートステーションの会合で、本人の了解を取って個別事例の発表をしたところ、保護者の方が出ておられて大変な問題になりました。</li> <li>○ 非常に気を付けていかなければならないと私どもは反省しているのですが、この事例につきましても、私どもも神経を使っておりますが、冒頭申し上げましたように、更なる皆さま方の取り扱いについても、よろしくお願ひしたいと思っています。</li> </ul>
西條会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ ただ今の個別事例の報告について、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。</li> </ul>
西條会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特にご質問等ないようですので、次の議事に入らせていただきます。</li> <li>○ 以前の会議で、利用者のジョブトレーニングのための受入事業所の不足が課題として生じていました。</li> <li>○ このような課題に対応する取り組みとして、県・市のふるさと雇用再生特別基金事業を活用した四つの事業が立ち上がっているとのことです。</li> <li>○ それらを踏まえ、次に（４）各取組状況について、それぞれの事業の実施団体の皆様からご報告していただきます。</li> <li>○ なお、ご質問等については、これら各報告全てが終わった後で一括してお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</li> </ul> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声）</p>
西條会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ それでは、そのようにさせていただきます。</li> <li>○ はじめに、 コミュニティ・カフェ（就労体験事業所＆居場所）事業についてご報告をいただきます。</li> <li>○ 報告は、ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟理事の武田さんです。</li> </ul>

<p>ささえあい生協 武田理事</p>	<p>武田さん，本日はお越しいただきありがとうございます。  ○ それでは，武田さん，よろしく申し上げます。</p> <p>○ 資料3「コミュニティ・カフェ(就労体験事業所&amp;居場所)事業」により説明</p>
<p>西條会長</p>	<p>○ ありがとうございました。  ○ 続きまして， 飲食話「茶の間」事業について報告をいただきます。  ○ 報告者は，企業組合労協センター事業団新潟事業所の竹葉さんです。  ○ それでは，竹葉さん，お願いいたします。</p>
<p>労協センター 竹葉氏</p>	<p>○ 資料2「新潟地域若者サポートステーション事業実績報告」(3ページ目)により説明</p>
<p>西條会長</p>	<p>○ ありがとうございました。  ○ 続きまして， 地場産大豆を活用した若年者自立支援事業について報告をいただきます。  ○ 報告者は，同じく竹葉さんです。  ○ それでは，よろしくお願いいたします。</p>
<p>労協センター 竹葉氏</p>	<p>○ 資料2「新潟地域若者サポートステーション事業実績報告」(3ページ目)により説明</p>
<p>西條会長</p>	<p>○ ありがとうございました。  ○ 次に， “沼垂・よりどころ”『よろずや』について報告をいただきます。  ○ 報告者は，新潟若者自立支援ネットワーク・伴走舎の市嶋さんです。  ○ なお，市嶋さんからは，最初にビデオを見てもらいたいとお話を事前にいただいておりますので，最初にビデオを上映したいと思います。  ○ それでは，申し上げます。</p> <p>(ビデオ上映)</p>
<p>西條会長</p>	<p>○ 引き続いて，市嶋さんからご報告をお願いします。</p>
<p>市嶋委員</p>	<p>○ 資料4「“沼垂・よりどころ”『よろずや』」により説明</p>

西條会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ 引き続きまして、新潟市発達障がい支援センター「JOIN(ジョイン)」について報告をいただきます。</li> <li>○ 報告者は、同センター就労支援担当の佐藤さんです。</li> <li>○ 佐藤さん、本日はお越しいただきましてありがとうございます。それでは、よろしく願いいたします。</li> </ul>
JOIN 佐藤支援担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料5「新潟市発達障がい支援センター『JOIN(ジョイン)』」リーフレット等により説明</li> </ul>
西條会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ それでは、ただ今ご報告いただきました から までの事業について、一括して何かご質問、ご意見はございますでしょうか。</li> </ul>
事務局（笠原）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務局から追加でご報告させていただきます。</li> <li>○ 今ほど、 から の事業について、ふるさと雇用再生特別基金事業を活用してニートの方々のジョブトレの場を提供する事業として、ご紹介させていただきました。</li> <li>○ , , につきましては新潟市が委託しているもので、 については新潟県が委託している事業ということをご報告したとおりです。</li> <li>○ 特に、 の地場産大豆を活用した事業につきましては、先月12月に新潟市の公募により選定された事業です。</li> <li>○ 現在、実施に当たり県で審査中であり、認可があり次第 の事業については事業が始まります。今現在、審査中だということだけ追加でご報告させていただきます。</li> <li>○ 認可があり次第、速やかに実施していきます。よろしく願いいたします。</li> </ul>
西條会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ それでは、ご質問、ご意見はありますか。</li> </ul>
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な動きが出てきたという感じで、これからが正念場だということだろうと思います。</li> <li>○ その中で、市嶋委員がご発言された中でとても興味深かったのは、これは昔から私も思っていることなのです。</li> <li>○ いわゆる既成の社会の中に当てはまる人間に障がいを持っていらっしゃる方をはめていくという考え方ではなく、その人たちがその人たちの特性に合った中で職業を得て生活して、自立していける</li> </ul>

ようになっていかなければ根本的な解決にはならないということを昔から思っています。

- 市嶋委員のご発言の中にそれが十分に表れているだろうと思っています。
- 沼垂という歴史のある地域の実情を踏まえた上で、地域の実情と自分たちの能力、できること、支援体制、環境整備といったものをどうやって合致させていくかということが、まさにこのような支援ネットワークがあるからこそ考えなければいけないことだと思っています。
- 誠に生意気なことを申しますが、私がこういう事業の中で一番嫌いなことは、一般就労という言葉です。
- 就労に一般も特殊もあるかということですし、給料が1,000円だからいけないのか、10万円だったらいいのかということになり、そういったものを取っ払って事業を考えていかないと、根本的なお話にはならないと思うのです。
- このネットワーク会議やニートに対する取り組みも歴史を重ねてきているので、そろそろ人を育てるための社会的なシステム作りに関心を向けていただいてもいいのかなと思います。
- 人を育てる、またその人たちが働ける場を作る、創造していくということにも繋がるのですが、例えば、先日あるシンポジウムに出て、驚いたのですが、新潟県には特例子会社が1社もないのです。
- 先ほど、援助されている食品会社の社長のお話の中にもあったように、場所を作ることも経営者の責任であるということをおっしゃって、この方は素晴らしいと思いました。
- やはり、特例子会社が未だに新潟県の中に1社もないという現状そのものを我々は考え直していかなければいけないし、それは何故なのか。
- 新潟県民というか越後人の特性なのか、それとも社会構造がそうなっているのか。
- また、あまりにも障がい者支援などに対する知識の普及が遅れているのか、そういった根本的な問題をそろそろ問題にしていきたいと考えています。
- とりあえず、好き勝手なことを言いますが、今回の取組状況についての話をお伺いしてそのように思いました。

西條会長

- ありがとうございます。
- 中島委員のご提案に関連して、何かあればお願いします。
- ご提案ということで、また引き続き事務局を含めてご検討いただきたいと思います。
- 他に何かご意見、ご質問ありますでしょうか。

<p>中島委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今度はもう少し軟らかい話で、ポイント的なお話をさせていただきたいと思います。</li> <li>○ 武田さんが実施している鳥の歌ですが、私も夜の部は何度か伺ったことがあります。        昼間でも一生懸命やられているということで、ご苦労さまです。</li> <li>○ 実績の中で、お弁当が月に45個というお話がありました。</li> <li>○ お弁当というのは、障がい者が働く作業所のメニューの中ではかなりポピュラーなものでして、多いところは1日200食の所も全国的にはあります。</li> <li>○ 45個が良いとか悪いとかではないのですが、やはりある程度経済的な効果や、そこにおけるユーザーの方の収入アップといえますか、待遇改善のためにも、ある程度の販売量の増加が必要であろうと思います。</li> <li>○ 1日200食出している所はどうやって営業開拓していったのか、そういった先進事例を学ぶ研修などをやったらいかがでしょうか。</li> <li>○ これは、どういう予算でどこの部署が担当し、どうすれば実現可能なのか分からないのですが、先進事例に対する学習をしていかないと、このまま月45個が1日45個になるように持っていく努力というのは、それこそ社会が障害であるならば、その障害を乗り越えていくためにとても必要なことではないかと思います</li> <li>○ そういった先進事例に学ぶというような取り組みも、是非頑張っけて伸ばしていただきたいと思います。</li> </ul>
<p>西條会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ 先進事例、先行事例の研究のご提案がありました。</li> <li>○ それでは、以上で報告事項を終わりにしたいと思います。        報告いただきました皆様、どうもありがとうございました。</li> <li>○ 続きまして、3番の意見交換に入らせていただきます。</li> <li>○ 今回、今年度第1回目の会議で、委員の皆様から発達障がい者への就労支援についてのお話がありました。</li> <li>○ それを受け、本日は、発達障がい者等への支援について意見交換してはどうかと考えております。いかがでしょうか。</li> </ul> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p>
<p>西條会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ それでは、そのようにさせていただきます。</li> <li>○ 発達障がいについて、委員の皆様から共通認識を持ってもらうために、新潟県発達障がい者支援センターの加治委員から、若干説明</li> </ul>

<p>加治委員</p>	<p>をいただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 加治委員，よろしく申し上げます。</li> <li>○ その他資料1「新潟県発達障がい者支援センター『RISE(ライズ)』活動実績報告」により説明</li> </ul>
<p>西條会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ 他に何かありますでしょうか。</li> </ul>
<p>西條会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ よろしいでしょうか。</li> <li>○ 以上で，本日予定していました議事は全て終了しました。</li> <li>○ 続いて，4その他に入らせていただきます。</li> <li>○ 事務局から何かありますでしょうか。</li> </ul>
<p>事務局（笠原）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 来年度の国のサポステ事業に関し，新潟県様から情報がありますでしょうか。</li> </ul>
<p>矢野委員 （代理：益田労働福祉・雇用均等係長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新潟県労政雇用課の益田と申します。</li> <li>○ 簡単に，厚生労働省の予算状況について説明させていただきます。</li> <li>○ 地域若者サポートステーションの事業ですが，今年度，全国で92か所採択されており，来年度は8か所増えて100か所で行う予定にしていると聞いています。</li> <li>○ 特に，高校中退者等の訪問相談等を強化していくと聞いています。</li> <li>○ 県内のサポステは，新潟，三条，村上と3か所あります。</li> <li>○ 3か所ある県が全国的に少なく，まだ1か所，2か所の県が殆どです。</li> <li>○ 県内では，上越や長岡など，ふるさと雇用再生特別基金事業を使って実施している所もあります。</li> <li>○ 新潟県としてはサポステを増やしていきたいと思っておりますが，国の委託を使ってというのは難しいという感触を持っています。</li> <li>○ もうひとつ，宿泊型の若者支援塾です。</li> <li>○ これは新潟県にはなく，全国に27か所ほどございますが，秋の事業仕分けで廃止する方向で進められているところです。</li> <li>○ その代わりに，雇用基金事業を使い，短期の合宿形式の事業を国で考えていると聞いています。</li> <li>○ 就労だけではなく，教育や福祉に関わる総合的なネットワークが必要だろうということで，昨年7月に子ども・若者育成支援推進法というものもできました。</li> </ul>

<p>西條会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新潟市には今日のネットワーク会議がございますが、そういった会議がない市町村もまだありますので、そういう市町村につきましては、来月、市町村を集めた全体会議を予定していますので、情報提供をしていきたいと考えています。</li> <li>○ ありがとうございます。</li> <li>○ 他に何かありますでしょうか。</li> </ul>
<p>事務局（笠原）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務局から、委員の変更につきましてお諮りしたいと思っています。</li> <li>○ 今ほど、「新潟市発達障がい支援センター」JOIN（ジョイン）」が開設されたことをご報告しました。</li> <li>○ 現在、県のRISE様から委員としてご出席いただいています。</li> <li>○ 今年度は3月にもう一回ネットワーク会議を開催する予定でいます。</li> <li>○ その際には、現在のとおりRISE様からご出席いただき、JOIN様につきましては、オブザーバーとして事務局サイドでご出席いただこうと考えています。</li> <li>○ 年度が改まり、来年度からはRISE様に替わり、新潟市のJOIN様に委員として加わっていただくことで考えています。</li> <li>○ そのような方向で進めさせていただいてよろしいかお諮りしたいと思っています。いかがでしょうか。</li> </ul>
<p>西條会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ただ今、事務局からご提案がありました。そのような形でよろしいでしょうか。</li> </ul> <p style="text-align: center;">（異議なしの声）</p>
<p>西條会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ それでは、そのような形で、来年度からよろしくお願いします。</li> <li>○ 最後に福島委員から、先ほどお話しがありました、ひきこもりアートフォーラムについてお話をお願いします。</li> </ul>
<p>福島副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ その他資料2「ひきこもり ART FORUM はじめの一步展 2010」リーフレットにより説明</li> </ul>
<p>西條会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他にありませんでしょうか。</li> <li>○ よろしいでしょうか。</li> <li>○ 以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</li> </ul>

司 会	<ul style="list-style-type: none"><li>○ どうもありがとうございました。</li><li>○ 今後とも若年者支援のためお力添えをいただきますよう、よろしくお願ひします。</li><li>○ なお、次回の会議日程などにつきましては、事務局で相談させていただきます、ご連絡を差し上げたいと思っています。</li><li>○ 今ほど申し上げたとおり、予定としては、3月下旬頃を考えています。</li><li>○ その際には是非ご出席いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。</li><li>○ 本日は、大変ありがとうございました。</li></ul>
-----	--